# 色彩学

科目ナンバー　0F111
総合基礎　　選択　　2単位

北嶋　秀子

1. 授業の概要（ねらい）

「色彩学」とは「色彩科学」、すなわち色彩を科学的に解明し、自然科学から人文科学までを横断的に含む学際的な学問です。

これらを学ぶことによって、色彩に関して幅広い知識の修得が可能となります。この授業では特に「光と色」・「色の表示方法」・「色彩調和論」など色彩学の基礎知識を修得することができます。

なお、この授業は総合基礎科目の学修目標1,3,4に関連します。また、この授業は主に講義形式ですが、適宜グループワークと実習を実施します。

2. 授業の到達目標

この授業の主たる目標は、以下の通りです。

1)「光と色」について理解し、その関係を説明することができる。

2)「色の表示方法」において、2つの表色系を理解し、説明することができる。

3)「色彩調和論」を理解し、それに則った配色ができる。

3. 成績評価の方法および基準

課題・レポートなどの提出物：30%
期末試験：70%

計100%で評価します。

期末試験・・・解答例・解説をLMSにアップします。

4. 教科書・参考文献

教科書
大井義雄・川崎秀昭著　『色彩』ISBN 978-4-901355-27-8　日本色研事業（株）

5. 準備学修の内容

パワーポイントを用いて授業を行い、資料は必要に応じて配布します。
授業の概要は、前もってLMSに掲載します。LMSを確認し、予習（60分）をして授業に臨んでください。また、課題の制作やレポート作成などに復習（60分）が必要です。

授業は「新配色カード199a」（￥780　日本色研事業）を使用しながら進めます。その他にスケッチブック（172×250mm）・のり・はさみ・定規などが必要です。第3回までに用意し、持参してください。

6. その他履修上の注意事項

7. 授業内容

【第1回】　ガイダンス、授業計画の説明
予習：小学館の『日本国語大辞典』で「色」の項をひき、その意味をすべて調べておく。
復習：「色のはたらき」について、説明するレポートを作成する。

【第2回】　光と色（1）光とは何か、光の性質と色
予習：「電磁波」と「スペクトル」（教科書2～3ページ）について調べ、ノートにまとめておく。
復習：「光」・「分光分布」・「分光反射率曲線」について説明するレポートを作成する。

【第3回】　光と色（2）「眼のしくみ」と「混色」
予習：教科書4～5ページを熟読し、ノートにまとめておく。
復習：「網膜」の視細胞と色との関係について、説明するレポートを作成する。

【第4回】　色の表示（1）色の分類
予習：グループワークを行うので、色の分類方法を調べ、ノートにまとめておく。
復習：色の分類方法に注目し、レポートを作成する。

【第5回】　色の表示（2）色の三属性
予習：グループワークを行うので、色の属性について調べ、ノートにまとめておく。
復習：色相・明度・彩度について、説明するレポートを作成する。

【第6回】　色の表示（3）PCCS（日本色研配色体系）
予習：「トーン」とは何か、その概念について調べ、ノートにまとめておく。
復習：「PCCS」を説明するレポートを作成する。

【第7回】　色彩調和（1）配色の基本的な考え方、色相差による配色
予習：PCCS の「色相環とトーンの配置図」を整理し、覚えておく。
復習：「色相差による2色配色」7例を作成し、次回提出する。

【第8回】　色彩調和（2）トーン差による配色
予習：配布資料「PCCSトーンのイメージ」を熟読し、概要を理解しておく。
復習：「トーン差による2色配色」6例を作成し、次回提出する。

【第9回】　色彩調和（3）自然の秩序と色彩調和
予習：教科書48～49ページを熟読し、「色相の自然連鎖」について調べておく。
復習：「色相の自然連鎖」に関係する配色5例を作成し、次回提出する。

【第10回】　色彩調和（4）古今東西の色彩調和論とジャッドの色彩調和論
予習：代表的な「色彩調和論」を一つ調べ、その内容をノートにまとめておく。
復習：ジャッドの4つの色彩調和論の中から一つを色票で制作、説明文（200字程度）とともに、次回提出する。

【第11回】　色の表示（4）マンセル表色系
予習：「マンセル表色系」について調べ、ノートにまとめておく。
復習：「マンセル表色系」を説明するレポートを作成する。

【第12回】　色の表示（5）言葉による色表示（JIS慣用色名とJIS系統色名）
予習：「色名」（基本色名・固有色名・慣用色名・系統色名）について調べ、ノートにまとめておく。
復習：上記4つの色名について、それぞれ具体例を挙げて説明するレポートを作成する。

【第13回】　カラーユニバーサルデザイン
予習：「ユニバーサルデザイン（UD）」について調べ、ノートにまとめておく。
復習：「UD」と「色覚の多様性」について、関連性を含めて説明するレポートを作成する。

【第14回】　青と緑
予習：日本における古代の色名について調べ、その概要をノートにまとめておく。
復習：「バーリンとケイの基本色彩語」を説明するレポートを作成する。

【第15回】　まとめ
予習：1～14回の授業を整理し、理解できなかった点を明らかにしておく。
復習：1～14回のまとめを作成する。